

令和4年度 名古屋市障害者差別相談センター・名古屋市障害者虐待相談センター・
名古屋市高齢者虐待相談センター 市民講演会
「差別や虐待のない地域社会をめざして」 開催報告

1 開催状況

開催日時：令和5年3月4日（土）午後1時30分～3時45分
会場：鯉城ホール
参加者数：374名

2 プログラム

<開会>

主催者あいさつ：名古屋市社会福祉協議会 権利擁護推進部主幹 弘田 直紀

<第1部>

講演 多様性のある社会を目指して

～障害者差別、障害者・高齢者虐待防止の視点から～

講師 田中 伸明 さん（弁護士・市視覚障害者協会会長）

【講演の概要】

冒頭、「花緑師匠の前座を僭越ながら務めさせていただきます」
ときさくにお話しされ、謙虚でユーモアある人柄に一瞬で会場の
皆さんの心をつかまれ、和やかな雰囲気が始まりました。

まず、自己紹介があり、障害当事者であるご自身の障害特性に
ついて、点字で作成された講演プログラムを見せるなどしながら
会場の皆さんに説明されました。

そして、障害者権利条約を締約している日本にこのほど国連から
出された総括所見についてや障害者差別解消法、障害者虐待防
止法、高齢者虐待防止法についてお話しされました。難しい法律
の内容も具体例を交えながらの説明で、とてもわかりやすい内容
でした。穏やかで丁寧な語り口に会場の皆さんも引き込まれ、熱
心にメモを取りながら聞き入る人が多くいらっしまったのが印
象的でした。



<第2部>

講演 発達障害は私にとってギフトでした!!

～発達障害落語家誕生～

講師 柳家 花緑 さん（落語家）

【講演の概要】

前半は、ご自身の障害特性について、同じ発達障害であっても障
害特性はさまざま個人差があるということなどをご自身の経験



を踏まえながらとてもわかりやすく、笑いを交えてお話しいただきました。

お話のなかで、障害の有無に限らず、誰でも困難なことが起こった時、何が起きたかではなく、それとどう向き合うかが大事。発達障害を良くみるか、悪くみるかはその人次第。だったら良い面をみるほうがよい。ものの見方（捉え方）が唯一私たちを変えられる方法といった、金言もいただきました。

また、花緑さんが日々心がけていることは、「そうじと笑い感謝」だそうです。実践するのにお金もかからず、意識を前向きにし、人生を好転させてくれるものというお話には、参加者の皆さんも頷いたり、相槌を入れるなどして熱心に聞き入っていました。

後半は、落語「井戸の茶椀」をご披露いただきました。

会場内は終始笑いに包まれ、時間も忘れるくらいあっという間の講演となりました。

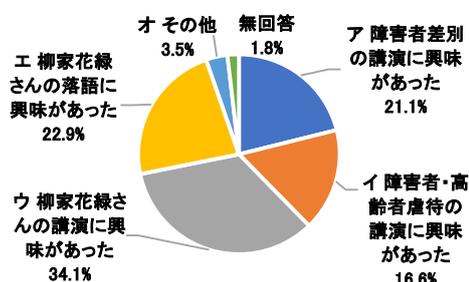


3 アンケート結果

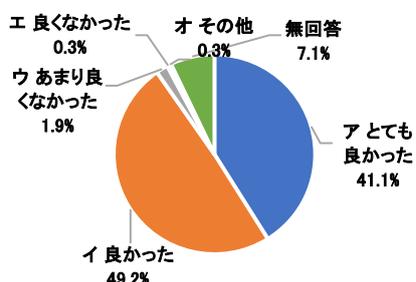
■アンケート回収数：309名（回収率82.6%）

■主な質問と回答内容

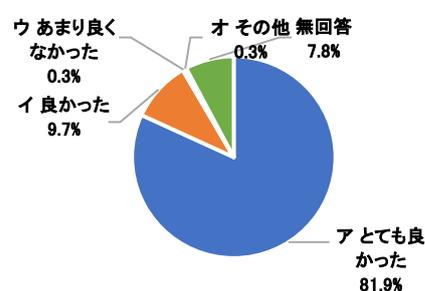
①参加動機



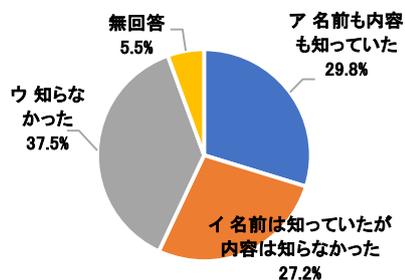
②第1部の満足度



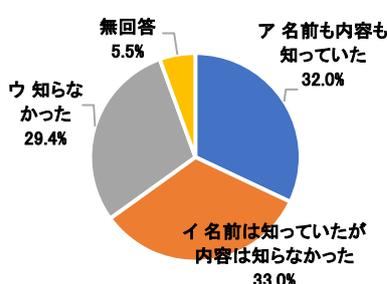
③第2部の満足度



④障害者差別解消法の認知度



⑤障害者虐待防止法・高齢者虐待防止法の認知度



⑥感想

- ・法改正があるのを知らなかったため、知ることができてよかった。
- ・「自分軸を持つ」「ものの見方によって変わる」「掃除・笑い・感謝」など心にひびく言葉をたくさん聞くことができた。
- ・発達障害の対処方法も身に着け、「ギフト」と捉える花緑さんの生き方に感銘を受けた。